お年寄りに優しい町に

長瀞・キッズ認知症教室

就学前の子どもたちに認知症を知ってもらい、お年寄りに優しいまちづくりを目指す取り組みが長瀞町で行われている。保育園などで住民らが講師役を務める「キッズ認知症教室」だ。核家族化で高齢者と暮らす機会が減る中、子どもたちにとってはゲームや紙芝居などを通じて、認知症の実態やお年寄りとの接し方を学べる場になっている。

教室は、介護保険法に基づき、高齢者が安心して暮らせる地域をつくるために各自治体が実施する生活支援体制整備事業の一つだ。長瀞町では、小学5年の児童を対象にしていたが、「もっと小さなうちから学んだ方がよい」と3年前から町内にある保育園と幼稚園（全3カ所）でも年1回開催している。

同町本野上にある「高砂保育園」（乙益直美園長）では、年中、年長の園児約20人を対象に13日に行われた。講師役は、整備事業で取り組む内容などを話し合うため町から委嘱された「町生活支援体制整備協議体（ささえ愛ながとろ）」委員らだ。

白髪のかつらをかぶって杖を持った男性が、司会者とのやりとりで耳が聞こえにくかったり、手が震えて字を書きづらかったりする状態を演じ、お年寄りの体の変化を説明。認知症をテーマにした手作りの紙芝居では、それぞれの役を各委員らが演じた。

子どもたちが目を輝かせていたのは「認知症ゲーム」だ。スプーンやコップなど七つの小道具を箱の中にしまい、紙芝居の後に箱に入っているものを思い出して当てる。一人一人が元気よく手を挙げ、大きな声で答えていた。困っているお年寄りを見かけたらやさしく声をかけるなど接し方も学んだ。約30分の教室を終えて四方田芽依さん（5）は「楽しかった。ゲームが一番面白かった」と笑顔だった。

県地域包括ケア課によると、就学前の子どもを対象にした同様の教室は、今年度は本庄市や横瀬町でも行われているが、珍しい取り組みだ。ささえ愛ながとろの生活支援コーディネーターの野口恵子さんは「お年寄りに優しくなったというより、保護者の声が寄せられるなど効果はある。子どもから高齢者まで住みやすいまちづくりを目指していきたい」と話している。【照山哲史】

住民ら講師役　ゲーム通じて接し方学ぶ

白髪のかつらを付けた男性の話を聞く園児ら（後方は「ささえ愛ながとろ」委員ら）＝長瀞町で

さいたま記者日記　歳末版

教育現場に専門家を

学校のいじめ問題を取材して、改めて対処の難しさを感じる。いじめる側が悪いのは前提でも、何らかの「折り合い」が必要なこともある。その手立てを尽くすことが、教員だけでできるだろうか。

さいたま市で8月に開かれたいじめ防止シンポジウム。参加した中学3年の女子生徒は、周囲でいじめが起きる時、加害者側の家庭環境に何か問題があることが多く「加害者のケアが必要」と感じていた。一方、高校2年の男子生徒は加害者が大変な家庭で、許してあげるよう促された経験があった。「分かるけど、被害者に求めるのは違いますよね」

生徒らの話を聞きながら、いじめで一人娘を失った女性の言葉を思い出した。

「加害者がいなくならない限りいじめはなくならない。加害者も何かに苦しんでいるとすれば、そちらを緩和することが『なぜいじめるのか』を問い詰めたり、謝罪を強いたりするより、実は解決の早道だ」

目が開かれる思いだった。いじめの根源は、加害者がその行為をしてしまう背景にある。

一方、対処が長引けば流れた時間は取り返しがつかない。特に被害者にとっては、大切な学校生活が損なわれるだけでなく、進路に関わることもある。

現在の体制で対応するのは現実的だろうか。教員は学級数を基本に定数が決まり、制度的に人的余裕が生まれにくい。教員が手いっぱいでは、できることは限られる。いじめに対処する専門的なスキルを持って職に就くわけでもない。

文部科学省は、教員と専門スタッフが連携して学校の課題に対処する「チーム学校」を掲げる。何か起きてからではなく、普段からワンチームで子どもたちに関わることが求められるのではないか。

生徒の心の悩みを聞くスクールカウンセラーや、生活環境の改善を支援するスクールソーシャルワーカーは各校常駐ではない。教育現場には専門家の「眼」と「手」がもっと必要だ。【岡礼子】

＝随時掲載

埼玉
SAITAMA
saitama@mainichi.co.jp

さいたま支局
〒330-9550
さいたま市浦和区仲町3の12の6
JS一1ビル1階
048・829・2961　FAX048・829・2964
埼玉東支局
〒344-0067
春日部市中央6の3の9
048・735・9811　FAX048・739・1219
熊谷支局
〒360-0041
熊谷市宮町2の122
第一宮町ビル5階
048・521・0012　FAX048・520・2208
埼玉西支局　049・222・0518
越谷通信部　048・962・2038
所沢通信部　04・2928・3471
秩父通信部　0494・22・0212

広告は
埼玉毎日広告社　048・864・2521
購読は
0120・468・012

ニュース24時

寄居・パワハラで課長減給　寄居町は26日、職員を大声で非難するなどのパワーハラスメントをしたとして、50代の課長を減給10分の1（3カ月）の懲戒処分にしたと発表した。町によると、課長は

県経済発展の糸口

「渋滞緩和」対策を

JC埼玉ブロック、知事に提言書

日本青年会議所（JC）埼玉ブロック協議会は26日、県内の交通問題についての提言書を大野元裕知事に提出した。県の経済発展のために「渋滞緩和」が解決の糸口とし、広域的な道路ネットワークの強化、充実を求めた。

提言書では、南北方向の道路に交通が集中していることや、市街地を通過する幹線道路が混雑していることを示す資料などを基に、「交通渋滞は、経済的な損失や二酸化炭素排

放火容疑4回目逮捕

蕨立てこもり　自宅アパート全焼

蕨市の蕨郵便局で10戸田市の自宅アパートに起きた人質立てこもり事件で、県警は27日、住所不定、無職、鈴木常雄容疑者（87）が放火容疑で再逮捕した。「ガソリンをまき

越谷「埼玉鴨場」

宮内庁が参加者募集

来年2月20日、3月6日

宮内庁は、埼玉県と千葉県にある「鴨場」で来年2月と3月に開く見学会の参加者を募集している。参加費は無料。締め切りは来年1月12日で、応募方法の詳細はホームページで公表している。

鴨場は皇族が外交団を招いて日本伝統のカモ猟を披露する接待場所。参加者はカモ猟に関するビデオを見た後、場内を歩いて回る。所要時間は1時間15分程度。

越　は来　日、　浜鴨　月12　と午　る。　各　込み　なる。　者ら　込み　ール　日時、　を記　合は

2022～23年度にかけて、大声を上げるだけでなく、休暇の取得を邪魔するような発言や、長時間の叱責などパワハラを繰り返していたという。峯岸克明町長は「再発することのないよう、一層の綱紀粛正を図っていく」とするコメントを発表した。被害者は複数おり、うち一人は心身に不調を訴え、6月から休職しているという。

危険走行容疑の2人不起訴　飯能市の国道299号を車やバイクで暴走したとして、道路交通法違反（共同危険行為）容疑で逮捕された狭山市の女性（22）と所沢市の男性（23）について、さいたま地検川越支部は不起訴処分とした。25日付。理由は明らかにしていない。

天気

のち　一時・時々　5%以上　正午の風向き　5%未満

	インフルエンザ	洗濯	乾燥肌
	3 警戒	4 よく乾く	3 警戒

さいたま　気温11/2℃　降水確率　0%
6 9 12 15 18 21 24時　あすの予報
15/-1℃　10%

	インフルエンザ	洗濯	乾燥肌
	2 注意	4 よく乾く	3 警戒

熊谷　気温12/0℃　降水確率　0%
6 9 12 15 18 21 24時　あすの予報
15/0℃　10%

秩父　気温11/-3℃　降水確率　10%